

「令和6年度 よりん彩活動支援事業補助金」事業

「最後のシーンは、スクリーンで見られて本当に良かった」

「何度観ても、色んな優しさに心をつかまれます」



公式HP



Twitter  
@team\_sonoko



Instagram  
@teamsonoko



# Team その子

解離性同一性障害（多重人格障害）を周囲に隠し日常生活を送る、その子。その子を守るために内部の人格達がそれぞれバラバラにおこなった行動が、周囲との摩擦を生み、その子を追いつめてしまう。人格たちとの葛藤と理解、そして和解の物語。

出演：野々村すずか 野崎紗矢 イワザキ 小林瑠衣 水野日頼 永野和哉 越智亮介 中島幸子  
こっぺさうす 須藤心悠 蜂丸明日香 大野やすひろ 安良田愛斗 小川響 斉藤遼太郎 大権早耶佳 高橋良子  
監修：NPO法人レジリエンス 監督・脚本・編集：友塚結仁 44分 2023年

※この物語は、解離性同一性障害をかかえる方たちや、その周囲の方たちの経験を元に創作したフィクションです。特定の人物、団体等をモデルにしたものではありません。

この映画はReadyFor『解離性同一性障害(多重人格)への理解が深まる短編映画を作りたい』プロジェクトにご支援いただいた方々の協力により制作されました。

## 上映会『Team その子』& 「解離あるある」トーク

2024

鳥取

6/21 (金)

トーク：友塚結仁 ・ 西山さつき  
(監督) (レジリエンス)

参加費：500円

会場：とりぎん文化会館 第一会議室  
(鳥取県民文化会館)  
〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5

お問い合わせ corocoro3474@gmail.com  
080-2906-9402 (高橋)

午後

15:00~17:00  
(開場 14:30) 定員150名

お申込み



夜

18:30~20:30  
(開場 18:00) 定員150名

お申込み



当日参加も可能ですが、準備の関係上、できるだけ事前のお申込みをお願いいたします。

主催：映画「Team その子」鳥取上映会実行委員会

後援：鳥取県、鳥取市、鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会、(公社)鳥取県人権文化センター、(公社)鳥取県医師会、(公社)鳥取県看護協会、鳥取県医療ソーシャルワーカー協会、鳥取県社会福祉協議会、(社福)鳥取市社会福祉協議会、鳥取県児童入所施設協議会、鳥取県児童養護施設協議会、(一社)鳥取県社会福祉士会、鳥取県精神保健福祉士会、鳥取県臨床心理士会、鳥取県民生児童委員協議会、鳥取いのちの電話、鳥取県性暴力被害者支援協議会(クローバーとっとり)、(株)新日本海新聞社、日本海テレビ、和泉屋与兵衛、NPO法人レジリエンス

あらすじ

解離性同一性障害（多重人格障害）を周囲に隠し日常生活を送る、その子。  
その子を守るために内部の人格達がそれぞれバラバラにおこなった行動が、周囲との摩擦を生み、その子を追いつめてしまう。人格たちとの葛藤と理解、そして和解の物語。



## キャスト・スタッフインタビュー



野々村すずかさん  
「その子」役

実際にこの病に向き合っている方がいらっしゃり、その当事者の役を演じるということで、責任を感じました。失礼がないようにというのはもちろん、背景やお話を伺い、一つの歯車として役割を全うできるようにという気持ちでした。

その子は自分だけで作るものではなく、内部人格と一緒に作りあげていく作業でした。自分の中からだけでは絶対出てこないような表現や話し方を取り入れられるよう、他の人格を演じる皆の声や動きを見ながら取り組みました。皆と声をかけ合いながら進められたことも、とても心強かったです。その子としても、私自身も、周りのみんなの力をお借りして、完走することができた作品です。

野崎紗矢さん  
「セクシー」役



私の知らない世界のことだったので、最初は緊張しました。その子と同じ体だけれど違う人格を演じるということで、見た目やお芝居がその子本人と離れすぎないように、丁寧に演技するように思います。

その子やほかの人格ができないようなことを、自分がやらなければならないという正義感をもって、嫌な事でも引き受けるというのは、共感するところがありました。シーンの中でも、そういう立場になったらそうするのわかるし、実際にそうされる方もいらっしゃると思います。そのシーンにも注目していただければと思います。

中島幸子さん  
「カウンセラー」役・監修

子どもの頃に耐え難い、無力感を感じるような逆境を経験していると、意識が身体から離れる解離という手段を使って生き延びることがあります。解離する全ての人が解離性同一性障害になるわけではありませんが、解離を何度も経験すると、つらい記憶や体験を受け持ってくれる人格やパーツが分かれていき、解離性同一性障害の症状を抱えることがあります。私自身、解離性同一性障害の症状があるので、複数の人格が1つの身体を使いながら生きることの複雑さや困難を経験しています。周囲の人も影響を受けるため、この障害についての理解が非常に大切だと感じます。

解離性同一性障害に限らず、少しでも理解しようとしてくださる方が増えれば増えるほど、当事者にとって助けになります。ひとりでも多くの方にこの映画を見ていただければと思っています。



公式HP



Twitter  
@team\_sonoko



Instagram  
@teamsonoko



※この物語は、解離性同一性障害をかかえる方たちや、その周囲の方たちの経験を元に創作したフィクションです。特定の人物、団体等をモデルにしたものではありません。

この映画はReadyFor『解離性同一性障害(多重人格)への理解が深まる短編映画を作りたい』プロジェクトにご支援いただいた方々の協力により制作されました。